



老朽化が著しい義農神社



早瀬 武臣 議員

生ゴミの収集、堆肥化及びその利活用を

大型生ゴミ処理機を地域に設置し利活用を

問

生ゴミ処理事業は地域との連携が不可欠である。モデル地域を選定し、成果、課題を検証し町全体で推進すべきである。今後の取組みを問う。

町民課長

コンポストや液肥のできる生ゴミ処理バケツ等、個人の世帯への補助ではこれ以上生ゴミの減量が期待できない。そのため大型生ゴミ処理機を地域の集会所など

に設置し、地域で出た生ゴミは地域で利活用する体制づくりを行う。地域の特性に応じた生ゴミ減量リサイクルモデル事業を推進していきたい。

義農神社の修復は

民間団体を立ち上げ進めていきたい

問

義農作兵衛翁の偉業、精神は我々町民の誇りであり、義農神社は町の象徴、シンボルである。老朽化している神社への行政の立場、その修復は。

町長

義農神社は神社本庁に属していない宗教法人格をもたない神社で、氏子のいない崇敬神社と理解している。憲法に規定されている政教分離の原則により町が改修することはできない

いが、本町及び町民の皆様にとってその存在価値は大きい。今後、町長個人の立場で義農神社を支えていくための民間団体の立ち上げの呼びかけや働きかけを行っていきたい。